

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街に隣接して大型商業施設がオープンしたことで、来街者数が前年比3倍となり、商店街ににぎわいが戻っている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・梅雨時期の割に雨が少なかったため、来客数が前年よりも増加しており、売上も伸びている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は減少傾向にあるが販売量が増えている。業種的に暑い時期に販売量が増える傾向にあるため、その結果とみられる。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・梅雨明け前から猛暑が続いたことで、飲食店への販売量が増加している。外食を控えていた消費者も涼を求めて飲食店を利用する傾向がみられる。また、コロナ禍以降、自粛傾向にあった自治会や町内会、企業が開催するピヤガーデン等の注文も、今年は大きく増加している。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・梅雨の時期だが雨天の日が少なく気温も高いため、ドリンクやアイス等の売上が好調である。景気はやや良くなっている。
	○	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・マイナス要因の物価高や円安が落ち着いてきたなか、パリオリンピックなどの明るい話題や定額減税の効果などもあり、徐々に消費者の購入モチベーションが上がっている。
	○	家電量販店（従業員）	単価の動き	・梅雨明け前だが気温の高い日が続いており、エアコンを中心とした季節商材が売上を伸ばしている。特に、前年、取付けまでの日数が掛かるために断念した客の購入がみられる。長く使用できる良い物を購入する客も多く、若干ではあるが単価が上がっている。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車の購入を検討している客の増加に比例して、販売数も増えている。
	○	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・気温が上がり、夏物商材の販売量が増えている。一方で、通年物の動きは鈍い。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・インバウンドの取り込み施策の効果が出ている。
	○	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・エネルギー価格の高騰や円安の影響で社会環境は厳しいが、パリオリンピックの開催等もあり、旅行申込単価が上昇傾向にある。来客数、申込件数等は微増だが、やや良くなっていると見える。
	○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・受注件数、販売金額共に好調を維持している。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・商品価格は上昇しているにもかかわらず売上が上がらない。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と変わらず景気はかなり悪い。力を入れてきた主力商品も落ち込みが顕著である。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑のため、商品の動きも人の動きも良い状況にない。
	□	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・上旬は良かったが、中旬以降は雨の影響で客足が止まっている。また、月末の大雨災害により購買意欲は下がっている。
	□	百貨店（経営者）	販売量の動き	・定額減税の実施やボーナス支給額の増加などの影響で、週末の客の動きが活発になっており、特に高額商品が好調である。
	□	百貨店（催事担当）	単価の動き	・来客数は減少しているものの、客単価が上がっており、売上をカバーしている。
□	百貨店（従業員）	販売量の動き	・前年と比べ来客数は伸びているが、販売点数は伸びていない。必要最低限しか購入しない買い控えの傾向は継続している。	
□	スーパー（経営者）	単価の動き	・7月の平均1品単価は前年比ほぼ横ばいである。買上点数はやや改善傾向がみられるが、全体的には依然厳しい消費状況が続いている。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価が前年比96.3%、買上点数が同98.1%と消費が低迷している。来客数は伸びているが、売上は前年に届かない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・上向き要素が全くない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数前年比に大きな変化はなく、好転する見込みも少ない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・来客数は増加傾向にあるが買上点数が増えず、結果、売上は増えていない。原料価格や商品原価は上昇傾向にあり、特売構成比も上がっているため利益を圧迫している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・売上は前年比100.4%だが、来客数が98.7%と厳しい。客は特売日やクーポンの投入日に集中し、通常の日は落ち込んでいる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	単価の動き	・全体の売上は前年並みで推移している。下支えの要因は雨具類と制汗グッズの売上増加である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・少しずつ悪くなっている状態は3か月前と変わっていない。暑い日はあってもジュースなどを買いに来る客が少なく、今月もかなり厳しい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候による影響は多少あるが、状況に変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・東北各地で大雨による被害が発生しており、行楽の人出も鈍化している。値上げの影響か来客数は前年並みでも買上点数が減少している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・物価高騰により買上点数は減少し来客数も減少しているが、商品価格が上がっているため、売上の大幅な減少は回避できている。しかし、それはそれで問題である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・法人関係のお中元は前年より受注が多く、単価も上昇している。また、祭り用品の売上も好調である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・高価格帯の品物を扱っているが、来店頻度が減っている客がいる一方で、物価高を気にすることなく買物をする客もいる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・コロナ禍後のリベンジ消費で前年はスーツや礼服が売れたが、今年は売上が伸びる要素がない。また、前年の猛暑で夏物が売れたため、今年も猛暑だがそれがプラス要素になっていない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・梅雨に入ってから気温が前年よりも低いため、半袖シャツ、夏物スラックスの売行きが悪い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・売上は前年を上回ることはできたが予算の90%にとどまっている。客単価は前年比108%だが、来客数は前年比96%と前年割れの状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・エアコン等の季節商材は好調だが、テレビやパソコンは単価が下がっている。猛暑にならなければ前年割れしていたとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・個人客の販売量が低迷している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は低迷しており前年と変わらない。特別なキャンペーン等がないこともあり、売れ筋の車種の販売量が伸びていない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・メーカーからの配車量が若干増えており、売上は前年同月並みになっているが、受注量は伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産をしている。受注量の減少が続いているため、生産量、販売量が落ちている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	お客様の様子	・一部の人を除き、多くの人が食料品や生活雑貨などの値上げの影響を受けている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・売上自体はそれなりにあるが、商品単価がじりじりと上がっており、販売数量は落ちている。

□	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・販売量の減少が止まらない。燃料油価格激変緩和補助金の適用はあるものの高値が続いていることに加えて、天候不順のため夏休み需要に動きがない。
□	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	来客数の動き	・レジ通過客数は前年比99.1%である。飲食やフード業種における来客数を4月の前年比と比べると2%減少している。ファッション業種も7%減少している。生活に直結する業種にまで下降傾向がみられる。
□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・良い日と悪い日をはっきりと分かれている。
□	観光型ホテル (スタッフ)	それ以外	・景気が上向いている実感はない。
□	観光型旅館 (スタッフ)	単価の動き	・売上は横ばいである。
□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・インバウンドがオフシーズンに入っている。
□	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・猛暑の影響が夏季期間の宿泊販売が伸び悩んでいる。年間で最も販売ボリュームの大きい8月に開催されるパリオリンピックも、宿泊需要に水を差す原因の1つになっている。
□	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・県内の当社契約施設の販売量が3か月前から余り変わっていない。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・前月よりも客単価が少なくなっている。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・梅雨時期の雨と猛暑に加え、クルーズ船の乗客や夏祭り客などの利用が多くなっている。
□	通信会社 (経営者)	お客様の様子	・放送サービスの新規加入者数は、夏の大型スポーツイベントの開始を前に、家電量販店での大型テレビの購入に合わせて若干増えている。通信サービスの新規加入者数は、戸建て住宅では増えていないが、集合住宅ではオーナーによるインターネットの一括契約の増加により順調に伸びている。
□	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられない。
□	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・客の話は依然コスト削減が中心である。
□	通信会社 (社会貢献担当)	来客数の動き	・来客数は増加している。売上は多少増加しているが大きな伸びはない。
□	美容室 (経営者)	単価の動き	・ホームケア商品を購入する客やヘッドスパ等のオプションメニューを追加する客が多くなっている。
□	美容室 (経営者)	来客数の動き	・固定客のみで新規客が来ない。
□	その他サービス [寮管理] (管理人)	お客様の様子	・定額減税の効果はみられない。物価上昇の影響で個人消費が鈍化している。
□	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・建設資材価格の高騰や4週8休の義務化の影響で建設工事費が高騰しているにもかかわらず、民間からの仕事の依頼が増えている。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・戸建て住宅の販売は、注文住宅よりも手頃な価格の建売住宅が多い。建築単価は低い土地の販売もあるため、利益構成は悪くない。
□	その他住宅 [リフォーム] (従業員)	販売量の動き	・住宅設備機器はエアコンの売行きが好調である。省エネ型給湯器の補助金を活用した交換も増えている。リフォームは補助金を活用した設備改善工事とエアコンクリーニングが増えている。猛暑の影響で屋外工事は減っている。
□	その他住宅 [住宅展示場運営会社] (従業員)	来客数の動き	・来場者数は天候や気温などにより変動するが、住宅の成約数には変動がない。
▲	百貨店 (企画担当)	来客数の動き	・街でイベントが開催されると来客数は増えるが、それ以外の日は前年比マイナスである。気温は高いが夏物需要は低調である。
▲	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。

▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・前年から価格訴求を強化し集客を図ってきたが、伸長していた来客数が1年を経過し減少傾向になりつつある。
▲	スーパー（商品担当）	販売量の動き	・光熱費の上昇や物価高の影響か、実質賃金が上昇していないためか、買上点数が更に減少している。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は商品が値上がりした分、少し上がっているが、買上点数が減っている。最近AIを使った発注システムが導入されたので、これから先の利益はこのシステム次第である。
▲	コンビニ（経営者）	それ以外	・気温の上昇とともに売上は上がってきたが、経費の高騰が利益を圧迫している。光熱費の値上がりもかなり厳しい。人手も足りず疲弊している。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、販売量、客単価、全てが減少しており、過去の同月と比較しても最低の状況にある。商品価格の上昇による買上点数減少の影響が大きいとみている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・梅雨期間は来客数が減る傾向にある。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・客は商品価格を高いとみているのではないかと。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・セール開催中であるが消費意欲を感じない。
▲	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの認証不正問題やそれに伴う相次ぐ新車の出荷停止が響き、登録台数は前年比7割弱とかなり苦戦している。一方で、中古車の引き合いは好調で、収益自体は改善傾向にある。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・物価高が影響していることとメニュー価格を上げたことで、客が敬遠する状況になっている。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・7月に入ってから来客数が例年より少ない。
▲	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・予約客は前月より2割ほど多かったが、依然個人客は減っている。予約のほとんどは法人や団体関係で、建設業関係者は減少している。地元の大きな仕事が激減したことが原因である。振り客としての来店比率が大きかった建設業の個人事業主もいなくなっている。また、さくらんぼ収穫後の会合も少なくなっている。来店を期待していた客の動きが予想を下回っている。
▲	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が前年の7割程度に落ち込んでいる。
▲	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・物価高、節約志向の影響で来客数、予約数共に少ない。
▲	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・夏休みやお盆の前ということもあるが、物価高に加え豪雨などで更に動きが鈍くなっている。
▲	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・来客数、販売量が前年割れしている。
▲	観光名所（職員）	それ以外	・売上は横ばいで推移していたが、月末に発生した水害で被害を受けている。インフラが復旧しない限り客は来ない。
▲	遊園地（経営者）	来客数の動き	・前半の暑さと後半の雨で集客が伸び悩み、来客数は前年を下回っている。
▲	競艇場（職員）	単価の動き	・来客数は減っていないが、客単価は下がっている。
▲	美容室（経営者）	単価の動き	・施術単価が前年比97%で推移している。客は極力不要な美容施術を避けている。
×	商店街（代表者）	競争相手の様子	・倒産や閉店が増えており、シャッターを閉めている店が目につくようになってきている。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・商品、サービスの値上がりが続き、節約志向が更に強まっている。
×	その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	販売量の動き	・夏物の売上減少が止まらない。早くから夏物の提案をしているが受注に結び付かず苦戦している。暑いことを見越してポロシャツに変更したり、廃止したりするなど、全体的に制服の動きが低迷している。
◎	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・暑い日が続き桃の需要が高まっている。適度に雨も降り、糖度、大きさ共に申し分ない。需要と供給のバランスが取れて良い状況である。
企業動向関連			

(東北)	○	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・飲食店は好調が継続している。お中元ギフトは百貨店で苦戦しているが通販の伸長等により前年を上回っている。気温上昇とともに土産品は常温品の購買にシフトしている。
	○	電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・DRAM製造の顧客から、半導体製造装置の追加受注が入っている。
	○	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・大口工事の受注があり、売上は増加している。
	○	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・予定していた民間案件の受注により、やや良い状況となっている。
	○	金融業(広報担当)	取引先の様子	・企業の設備投資意欲はそれほど高まっていないが、インバウンド需要の増加が継続しているほか、夏祭りシーズンを控えて小売業関係の活動は活発化している。一般消費者の購買意欲は季節要因もあいまって高まりつつある。
	○	その他非製造業 [飲食料品卸売業](経理担当)	受注量や販売量の動き	・暑くなったため飲料の動きが良くなっている。受注量、販売量共に前年をやや上回っている。
	□	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いており、景気がやや悪い状況に変化はない。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・良くなるという話を聞くようになったが、まだ実際の売上にはなっていない。
	□	電気機械器具製造業(営業担当)	取引先の様子	・契約案件で追加作業が発生しているが、予算がないことを理由に追加投資を拒否されている。
	□	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・客先の動向が良くない状況が続いており、受注が伸びず売上に影響している。
	□	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・改修工事や改築工事はあるが、新規工事が少なく受注量に変化がない。
	□	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・受注量が限界に達しているため、これ以上は良くならない。この状況をどれだけ長い期間維持できるのかが課題である。
	□	輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・売上は前年より増加しており、4月からの累計でも増加している。ただし、これは一部の営業所で一時的な売上増加があったためであり、相変わらず景況感の良いといえる状況にない。
	□	通信業(営業担当)	取引先の様子	・顧客対応はほぼ対面になっており、営業しやすくなっている。
	□	通信業(営業担当)	競争相手の様子	・DX領域での営業戦略が競合他社との競争を激化させている。
	□	広告業協会(役員)	受注量や販売量の動き	・3か月前と変わらず低迷が続いている。賃上げ、定額減税とプラス要素はあるものの、広告業界への波及はほとんどみられない。
	□	広告代理店(経営者)	取引先の様子	・下期に向けて新しい案件の獲得が進まない。広告活動への意欲は高まっていない。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・B to Cの業種では、来客数が増えても購入単価が上がらないところや、購入単価が上がっても来客数が減っているところがあり、売上が伸びず業績向上に結び付かないケースが目立つ。
	□	公認会計士	取引先の様子	・顧客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス業は業績が改善しており、利益を計上している顧客も多い。製造業は部品不足等がまだ解消せず、売上を計上できない会社がある。建設業関係はおおむね一定の利益を計上しており、全体としての景気はやや良い状態である。
	□	その他企業[企画業](経営者)	取引先の様子	・小売流通業では商品の仕入価格が上昇しているため、価格転嫁せざるを得ない状況にあるが、大型店舗との競争もあって思い切った手が打てないのが実情である。
▲	農林水産業(従業者)	それ以外	・燃料価格や農業資材価格の高騰が続いており、収支が悪化している。	

	▲	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・お中元の動きが良くない。物価上昇の影響か送り先を絞り込んでいる。土産需要は堅調だが、お中元の落ち込みをカバーし切れない。
	▲	出版・印刷・同 関連産業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・市役所、民間企業共に緊縮、節約モードに入っている。
	▲	出版・印刷・同 関連産業 (経営 者)	取引先の様子	・同業者の中には、自己破産やM&A、事業停止、売却等、事業そのものをやめてしまうケースが出ている。
	▲	コピーサービス 業 (従業員)	それ以外	・取引先1社が破産し売掛金が回収不能となっている。
	×	窯業・土石製品 製造業 (職員)	受注量や販売量 の動き	・公共事業、民間事業共に受注量が減少しており、厳しい状況である。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	新聞社 [求人広 告] (経営者)	それ以外	・観光需要がインバウンドを含めて回復傾向にある。夏祭りに向けて、宿泊・飲食サービス業が上向いている。
	○	職業安定所 (職 員)	周辺企業の様子	・中心市街地の大型商業施設オープンやイベント等の開催により人流が活性化しており、飲食サービス業を中心に個人消費が回復している。
	○	民間職業紹介機 関 (職員)	周辺企業の様子	・企業から人材が欲しいとの問合せが増えている。
	□	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・3か月前から景気が良い状況が続いており、あらゆる業種、業界が求人を出している。
	□	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・採用者数は横ばいである。一部の優秀な人材に対する需要は高く、その人材を複数社で取り合う状況は変わらない。
	□	アウトソーシ ング企業 (経営 者)	それ以外	・客との価格調整で値上げはできたが、人件費が増加しており利益が出ない状況である。
	□	新聞社 [求人広 告] (担当者)	周辺企業の様子	・前月と比べ若干ではあるが広告に動きが出ており、前年並みの売上となっている。
	□	職業安定所 (職 員)	周辺企業の様子	・人手不足により求人活動は活発だが、物価高による企業収益の悪化を訴える声も多い。
	□	職業安定所 (職 員)	周辺企業の様子	・中小企業は発注元の状況により、景気にばらつきがみられる。
	▲	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者数の前年比成長率がマイナス領域で推移しており、3か月前と比較しても悪化傾向にある。
	▲	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者の動きが鈍く、採用の動きも鈍い。定着していると捉えれば問題はないが、新規求職者に対しては適切な求人先を紹介できていない状況である。
	▲	新聞社 [求人広 告] (経営者)	それ以外	・広告の取扱高は前年を割る状態が続いている。求人広告も介護職など特定の人手不足業種に偏っており、幅広い業種で採用が活発化しているとはいえない。
	▲	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に減少している。
	▲	学校 [専門学 校]	それ以外	・オーバーツーリズムの影響により、様々な分野で物価高騰がみられる。
	×	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・求人の動きとして、プラス材料になるようなものが見当たらない。